

# 千葉県建築文化賞

## 第20回表彰作品集

千葉県建築文化賞創設20周年記念特集



2013年

主催：千葉県 共催：一般社団法人 千葉県建築士会

# 千葉県建築文化賞について



千葉県知事 森田 健作

平成25年度の千葉県建築文化賞に多くの皆様から御応募をいただき、誠にありがとうございました。

千葉県建築文化賞は、建築文化や居住環境に対する県民の意識の向上と、うるおいとやすらぎに満ちた快適なまちづくりを推進することを目的に平成6年度に創設され、今年度20周年を迎えました。これまで千葉県建築文化賞を支えていただいた歴代の選考委員をはじめ、関係団体の方々の御協力に深く感謝申し上げます。

節目となる今回は、68点の応募をいただき、千葉県建築文化賞選考委員会による厳正な審査の結果、建築文化賞6点及び建築文化奨励賞2点が選定されました。

受賞作品は、いずれも建築文化の向上につながるものであり、また、千葉の魅力を高め、地域の活性化にも貢献する素晴らしい作品です。これらの建築物が、地域社会の中で親しまれ、より良いまちづくりの推進に寄与していくものと期待しております。

県では、新たな総合計画「新 輝け!ちば元気プラン」を策定し、県民の皆様が「くらし満足度日本一」を感じ、誇れるような「日本一の光り輝く千葉県」づくりを目指して、各種施策を進めているところです。

今後とも、千葉県建築文化賞表彰制度などの取り組みを通じ、県民の誰もが安全に安心して快適に暮らすことができる住まい・まちづくりを進めてまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、受賞者並びに応募いただいた皆様のますますの御活躍をお祈り申し上げまして、あいさついたします。

平成26年3月

## 目次

千葉県建築文化賞について	1	流山の集会所(前ヶ崎みどり自治会館)	9
第20回千葉県建築文化賞選考経過と総評	2	バスキッチンの家	9
山武市立しらはたこども園	3	千葉県建築文化賞の実績	
千葉ロッテマリーンズ屋内練習場	4	(応募点数・受賞作品数) 一覧	10
東京理科大学総合研究機構		<b>千葉県建築文化賞創設20周年記念特集</b>	
光触媒国際研究センター	5	千葉県建築文化賞の20年	11
THE FARM -AGRIZM PARK CHIBA KATORI-	6	千葉県建築文化賞過去表彰作品の紹介	12
さるすべり 百日紅のある家	7	歴代の選考委員一覧	21
Example-House	8	共催者挨拶	22

# 第20回千葉県建築文化賞選考経過と総評

## 応募68点から8点入賞

### (選考経過)

千葉県建築文化賞選考委員会委員長 北原 理雄

第20回千葉県建築文化賞は平成25年7月の委員会で募集要領を定め、7月中旬から9月中旬まで応募を受け付け、総数68点の応募をいただいた。(部門別内訳は下表のとおり。)

昨年度までは「景観上優れた建築物」「ユニバーサルデザインに配慮した建築物」「環境に配慮した建築物」の3部門に分けて募集を行っていたが、今回は「一般建築物」「住宅」の2部門に変更した。第一の理由は部門間の応募数の不均衡である。過去5年間の応募総数をみると、景観部門242に対してユニバーサルデザイン部門48、環境部門88であり、大きな差が生じている。ユニバーサルデザインと環境は、千葉県がめざす建築文化の柱であるが、応募数の減少はそれらの重要性が関係者に浸透し、当然の配慮事項になった結果とも考えられ、特別に部門を立てる必要性が薄れたと判断した。

部門の変更に戸惑われた方々がおられるかもしれない。しかし、「一般建築物」「住宅」という部門設定はベーシックなものであり、より広い視野で応募していただきやすくなっているのも、ご理解をいただきたい。

第1次選考はすべての応募用紙を一堂に展示し、その記載と写真をもとに投票を行い、一般建築物7点、住宅5点を選んだ。次いで11月の3日間をかけ、現地を訪問し、建築物の説明を伺いながら詳細に調査した。第2次選考は12月開催の委員会、現地調査の報告を踏まえて再度投票を行い、討議を重ねながら優秀な建築物を選んだ。

その結果、建築文化賞6点、建築文化奨励賞2点を表彰候補作品として決定した。一般建築物の授賞作品は農園、こども園、スポーツ施設、学校、集会所と多彩であり、住宅も規模・ライフスタイルともに多様な作品となった。幅広く質の高い作品に恵まれたといえよう。

募集部門	選考過程	応募点数	現地調査 (第1次選考)	受賞作品選定(第2次選考)	
				建築文化賞	同 奨励賞
一般建築物		42	7	4	1
住宅		26	5	2	1
合計		68	12	6	2

### (総 評)

#### 一般建築物の部

一般建築物の部への応募は42点で、学校と公共施設に佳作が多かったが、授賞作品のうち3点は「その他」に分類される建築物であり、多彩な作品が寄せられた。

建築文化賞の「山武市立しらはたこども園」は、東日本大震災の津波被災を機に海岸部の幼稚園・保育園3園を移転統合して建設された。中庭と遊戯室を中心に保育室を配置し、立体的な回遊性を実現しており、こどもたちに快適な生活環境を提供している。また、円弧を描く大屋根の下にまとめられた建物は周囲の田園風景ともよく調和している。

「千葉ロッテマリーンズ屋内練習場」は、折り紙風船をモチーフにした構造で50m四方の屋内練習場を包み込み、威圧感のない端正な形態を実現している。川沿いの松林側に設けられたガラス張りのファン観覧スペースにも細やかな心配りが感じられる。

「東京理科大学総合研究機構光触媒国際研究センター」は、光触媒技術を活用した新規事業開拓を目的とした産学官連携研究施設である。外観には“光”をデザインに反映しようとする試みが随所に見られ、シンプルだがリズミカルで個性的な建物になっている。

「THE FARM -AGRIZM PARK CHIBA KATORI-」は、8.3haの敷地に貸し農園、クラブハウス、宿泊棟などを配した、土と親しむ余暇施設である。地元杉材を使い、環境に調和した建築群と、里山を活かしたランドスケープに加えて、遊休農地活用モデルとしての可能性が高く評価された。

奨励賞の「流山の集会所(前ヶ崎みどり自治会館)」は、老朽化した自治会館を自治会が主体になって建て替えたものであり、住民と若い設計者のコラボレーションが、困難な敷地条件のなかで明るく清々しい空間を実現している。

#### 住宅の部

住宅の部の応募は26点であり、県内各地から規模もライフスタイルも異なる多様な作品が寄せられた。

建築文化賞の「百日紅のある家」は和風の大規模住宅であるが、柔らかな軒線の大屋根で建物を包み込み、庭の木々と一体になって、閑静な住宅地の景観を引き立てている。自然素材を多く使い、隅々まで目配りの行き届いた質の高い作品である。

「Example-House」は、中庭を囲む凹字形プランの都市型住宅である。2層の住空間は中庭を取り巻いて一体化し、明るく開放的な室内環境を実現している。外観は白い箱状だが、ガラスの玄関ポーチと子供部屋の筒状の開口によって街並みに表情を与えている。

奨励賞の「バスキッチンの家」は、築40年、41㎡のマンションをリノベーションし、窓辺に浴室とキッチンのあるワンルーム戸戸とした意欲的な作品である。

# 建築文化賞

一般建築物

建築主：山武市

設計：株式会社竹中工務店

施工：株式会社竹中工務店

所在地：山武市白幡1919番地

自然災害が生んだ統合幼保施設の形と環境

## 山武市立しらはたこども園



全景俯瞰 園舎中央の屋上広場が津波避難スペースとなる

(撮影/勝田 尚哉)

3.11の津波に近隣の九十九里海岸も洗われた。近い将来想定される大規模な自然災害から、未来の日本を担う子どもたちの生活空間をどう守るのか。悩ましい現代的な課題である。千葉県山武市は地域の4つの幼保施設を移転・統合し、より内陸の安全な場所に建てることに決めた。一つの選択肢に違いない。三陸海岸の被災地における住宅の高所移転も同様である。どちらの場合もそれによって新たな問題も起こる。前者の場合は自宅から遠距離になることの通園やコミュニティからの疎遠化であり、後者の場合は住まいと漁業のような沿岸型生業との距離と利便性である。

しかし、行政が選択したそのプログラムを受け入れた上で、プロポーザル・デザインビルド方式の選定に対して、どのように建築的に応えるのか。ここではそれが問われた。前提条件として畑地に囲まれたのびやかで安全な敷地を与えられ、設計者は直線と曲線を巧みに幾何学的に組み合わせることで、利用

者にわかりやすく印象的な形を提案した。そして、屋外の中庭と屋内の中庭的なホールを抱き守るかのように、その周囲に幼児の生活空間をゆったりとしたスケールで配置した。そのせいか、ややスケールアウトな印象を否めないが、その分自然光が溢れ、自然換気の工夫に依拠する明るく、健康で、心地よい室内環境が達成されている。

一方、RCの主体構造を覆う地域産の木材「山武杉」等を多用した内装の木質系テクスチャーは柔らかい。こうして、災害と環境に配慮した取り組みが、地域の中で持続的に成立しうる一つのモデルとして表現された。(岩村 和夫)



園の中心となる遊戯室



園児たちの活動の場となる屋上広場

建築主：株式会社千葉ロッテマリーンズ  
 設計：大成建設株式会社一級建築士事務所  
 施工：大成建設株式会社千葉支店  
 所在地：千葉市美浜区美浜1番地

S造のデザイン性への挑戦

## 千葉ロッテマリーンズ屋内練習場



公園の緑にとけこむ折り紙風船をモチーフにした外観

(撮影/シンフォトワーク 宮本 真治)

建築文化の発展は一面、材料の開発進化とともにあると言える。作品は千葉ロッテマリーンズ球場の一角に建つ屋内練習場である。海浜に建つ建物は、鉄は無論アルミや銅もたちまち塩害を受ける。近年は塩害にも強い耐久性のある合金鋼板が種々開発され屋根や外壁材として様々に普及している。これらの合金類を使用した建物は用途によっては無味な建物になりがちであるが、野球の屋内練習場という特殊な建物であり室内空間が求められる建物として合金鋼板や外部から採光を取り入れるためのポリカーボネート折板の使用は建物にマッチした材料の使用と言える。

鉄骨構造の組み合わせによる大規模空間の創造は用途により求められるものであり、室内の環境整備には採光、照明、空調、換気は第一に考慮すべきことであるが一方、外部の環境にも配慮する必要がある。海岸に近いこともあり、北西側の河川、南側の広い道路等、周囲に防風的なものが無いため、塩害、軽量の外部材料の使用には風害の影響にも配慮する必要がある。作品は屋根、外壁に耐蝕性のある合金鋼板を使用

し、風を受け流すためには屋根、外壁の角度の工夫により処理している。求められる大規模空間は鉄骨造の多面的な組み合わせにより合理的に創造している。デザイン性・周辺の景観との調和が建築文化賞に値する。

自然エネルギーの活用は一般的になり、この作品にも多面的な一面を利用した外部採光の取り入れがあり、100KWを想定したソーラー発電による創エネ設備がされているが当然と思う。しかし今後も、「環境負荷の低減」・「周辺景観との調和」に配慮した建物が建築文化として発展の主流になるだろう。この施設が屋内練習場として、プロ野球選手だけの施設ではなく、地域の子ども達にも利用できる親しまれる施設になることを望みたい。（青柳 英俊）



水辺の景観の中で折り紙風船のように夢をふくらませて船出するイメージ



屋内練習場:勝利の光へと導かれるイメージの自然採光と照明計画

# 建築文化賞

一般建築物

建築主：学校法人東京理科大学  
設計：株式会社竹中工務店  
施工：株式会社竹中工務店  
所在地：野田市山崎2641

先端技術の建築的インキュベーター

## 東京理科大学総合研究機構 光触媒国際研究センター



鳥瞰

(撮影/小川 泰祐)

5  
大学で教育・研究をする者として、その具体的な研究内容が建築的に解釈され実施に移された例をあまり多くは知らない。固定化された研究内容の器でありつづけることが比較的稀であるからだ。それに対して、ここでは「光触媒」という先端的な素材を介して、建物の機能とも深く関わる今日のテーマの建築的翻訳が課題であった。よく見れば、その「国際研究センター」を新設するにあたり、ユーザーと設計者・施工者は限られた予算の中で、この課題に真摯に向き合ったことが了解される。

結果的に極めて精緻なディテールや施工精度が、この大学施設の品位と存在を高めていることは言うまでもない。そして、光触媒を塗布した外壁パネル縦ルーバーが設備機器用バルコニーの外側に周到に配置され、キャンパス内の主動線側にリズムと陰翳を与えている。また、反対側の立面には光触媒タイルによる精度の高い平滑な仕上げが施され、ランダムな配置のガラスブロックとともに、全体として合理的で単純明快な幾何学的ボリューム

ムに控えめながらも印象的な姿を見せている。この取り組みは、大学施設で課題となる清掃やメンテナンスにも大きく寄与することだろう。

一方、室内に目を転じれば、仕切りのないオープン形式の研究室空間が注目される。センター長からの要請で従来のタコつぼ型を廃し、相互の交流やコラボレーションが自然になされるような試みとして実施に移された。時には必要とされる個別の研究環境がどのように確保されるのか疑問だが、今後の運用で、試行錯誤を経ながらどう使われていくのか興味深い。

(岩村 和夫)



産学官の連携を促す、一体化した共用空間(研究居室)



光の粒子性を表すファサード(東外観・住宅街側)

建築主：株式会社和郷  
 設計：有限会社ドス・パートナーシップ  
 施工：阿部建設株式会社  
 株式会社石毛ハウジング  
 所在地：香取市西田部1309-29

ほどよい田舎感が魅力

## THE FARM -AGRIZM PARK CHIBA KATORI-



列柱が、道を隔てた2棟の建物を一体的に見せ、差し込む光の陰影がファサードの表情を豊かにしている(インフォメーションセンター) (撮影/清水 尚志)

よく手入れされた農園が広がっていて、思わず胸いっぱい土の匂いを吸い込みたくなる。500区画ほどの貸し農園を囲む杉木立に寄り添うように、畑土色の14棟のコテージが並んでいる。箱形のコテージで、畑に向かって大きなテラスを差し出し、開放的な構えだ。コテージも隣接するクラブハウスもどこか都会的な洗練されたデザインである。それでいて、地元の杉がふんだんに用いられ、自然に抱かれてほっとする。

THE FARM AGRIZM は、香取市旧栗源町の約15haの耕作放棄地を活用し、農水省農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を受けて、施設をていねいに増やしてきている。以前からあった日帰り入浴施設を、地元農事組合が2010年「かりんの湯」として引き継ぎ、隣接してTHE FARMインフォメーションを設けた。インフォメーション内のスツールは杉の丸太を削りだしたものでひとつひとつ表情が違う。2013年にはカフェ棟が加わった。

これら入浴・飲食施設の集まるあたりから、広々とした畑の真ん中を250mほ

ど歩いていくと、畑の先に2012年に整備された前述のコテージとクラブハウスがある。

農園區画は個人会員用に5坪と10坪の2種だ。計画段階で、企業から保養と食育研修を兼ねた利用方法を提案され、現在複数の法人会員が各300坪ほどの農園を借りているという。首都圏からのアクセスがよく、周辺には複数のゴルフ場がある。ゴルフ場など自然を傷つけて開発されたレジャーを食った時代から、お手軽な田舎に癒される週末を求めるように人々の趣向は変わってきている。THE FARM AGRIZM の農園ランドスケープと調和した建物群のデザインは、いまどき都会人の求めるほどよい田舎を感じさせてくれる。

(岡部 明子)



畑から生える畑土色の建築群 (貸農園・クラブハウス・宿泊棟)



大開口からあふれる里山のあかりとメッセージパネル(インフォメーションセンター) (撮影/NARU建築写真事務所)

# 建築文化賞

住宅

建築主：松本氏

設計：株式会社井上尚夫総合計画事務所

施工：北野建設株式会社

所在地：松戸市

暮らしを楽しむ仕掛けを創る

## さるすべり 百日紅のある家



西側前面道路から車寄せアプローチ越しに見る外観

(撮影/ヴィブラフォト 浅田 美浩)

緑の多い起伏に富んだ丘陵地の一角、静かな住宅地の中にある、敷地面積830.14㎡、延べ床面積455.49㎡、鉄筋コンクリート造2階建て、一部地下階を有する大型の住宅である。水平に伸びたアプローチ、母屋の屋根の形や全体のプロポーションが美しく格調の高い佇まいを見せている。

住まいづくりのテーマの第一は、高齢期に備えて安心して暮らせること。起伏の多い坂道からのアクセスと敷地の高低差を、長いアプローチ空間を巧みに生かして解決している。平面計画においては、接客等の活動的な時間のための空間を1階に、2階にはプライベートな寝室部分を効率的に配し、安心の暮らしを確保している。

第二には、趣味の時間を大切に、暮らしを楽しむ仕掛けを創ること。特徴的な形状の既存車庫と新築住宅は、樹形の美しい百日紅の木を中心に、中庭を囲いこむようにコの字型に配置され、リビングの大きな開口部を開くと、ガラス張りの車庫に並ぶ趣味の車がいっつも視野に入るようになっている。それぞれの居室に応じて個性を持った庭

が配され、何処にいても視線の先に緑があり、暮らしの中で自然との一体感を感じ、楽しめる空間構成も巧みだ。

建物全体に新しさの中に伝統を重んじ、吟味した材料を生かし、引き立たせるようなディテールが随所に工夫されている。設計者と大工職をはじめとする優れた技術を持った職人が、丁寧に造り上げた作品といえる。

表千家不審菴を参考にして設えられたという、茶庭を持つ三畳台目のお茶室で茶事が催され、茶室が息づいている時に、客人としてぜひ訪れてみたいと思った。

(夏目 幸子)



南庭より大刈り込み、テラス越しに見るリビング外観



車寄せより玄関への  
回廊状アプローチ階段を見る

建築主：須藤浩孝  
 設計：株式会社デ・スタイル建築研究所  
 施工：白井興業株式会社  
 所在地：千葉市稲毛区

安らぎのある暮らしをめざして

## Example-House



ファサード夜景 (撮影/中村 絵)

敷地は住宅が密集した千葉市稲毛区にある。敷地の北西と南東の2面は道路、北東と南西は隣家という矩形の立地の中、『室内の通風と採光条件を高め』『道路からの視線を遮ること』で、安らぎの暮らしを可能とした住宅である。

両道路の視線高さの開口部は北西の玄関ドアと南東の地窓のみ。玄関はデザインされたガラス張りのポーチを介することで、直接道路と接しないよう工夫されている。対照的に南東道路のトップライトの2つの窓があたかもカエルを模したかのような特徴的な外観である。

断面計画は断面の階層レベルをずらすことで各部屋への通風・採光を確保すると共に、どこにいても家族の気配が感じられる空間構成となっている。また、1階に中庭(リビングテラス)、中2階にルーフバルコニーの外部空間を挿入することで建物全体が開放的で快適な空間となることを実現した。さらに、2階の寝室と子供部屋を結ぶ廊下(ブリッジ)床をガラスにしたことで、ルーフバルコニーからの光を1階まで落とすことができると同時に1,2階間の視線もほどよく通る。そして何より、ガラスブリッジを渡るのは臨場感もあって楽しい。

平面計画はどこにも無駄なスペースがなく、プライベートとパブリックの動線計画、家事動線、収納計画、お子様の成長する将来計画まで綿密に練られていた。

明るくお迎えくださった建築主の奥様はこの家をこよなく愛し、家族全員が隅々まで使いこなしていることが感じられた。真摯な設計者との連携で完成したこの家に好感が持てたと同時に文化賞にふさわしい、完成度の高い住宅であると感じた。(藤本 香)



コートからリビング



コートとルーフバルコニーへの階段

## 建築文化奨励賞

一般建築物

私たちのまちの「三角帽子」

### 流山の集会所(前ヶ崎みどり自治会館)

その形状から「三角帽子」と名付けられ親しまれているこの集会所は、既存自治会館の老朽化による建替え。敷地は、全体に緩やかに南に傾斜した住宅地の突き当たりの細長い公園の一面、南側が高い崖地の谷戸で、年間を通して終日陽の当たらない条件の悪い場所である。加えて予算等困難な課題を多く抱えた集会所を、地元育ちの若い建築家が中心となり、子どもたちも含めた地域住民が「集会所をつくることは街の未来を創ること」を合言葉に、何回ものワークショップを重ね創り上げたという。

公園に続く敷地は241.39㎡、延べ床面積109.65㎡、鉄骨造平屋建て、最低限の設備と収納スペースを持ったワンルームの集会所である。「日の光」を設計のテーマとして、冬至の光の状況を綿密に分析し、屋根の上部にしか届かない日差しを、高く持ち上げた屋根の稜線の隙間から効率よく室内に取り入れている。三方向を壁、西側に大きく開いた集会室をウッドデッキが取り囲み、公園と一体化した伸びやかな空間を作り上げている。

建物の保守・管理・運営等多くの問題を抱えているのでは、と気がかりな点もあるが、皆で創った三角帽子は、「これからの街づくり」の拠点として発展するばかりではなく、建替え問題に直面している近隣自治会にも良い影響を与えるのでは、と高く評価した。  
(夏目 幸子)

建築主：前ヶ崎みどり自治会  
設計：福井啓介+有限会社アイエフ  
施工：有限会社アイエフ  
所在地：流山市前ヶ崎2-90



大通りからいつでも明るい空間を見る事が出来る



夜も地域を明るく照らす存在となっている

(撮影/大谷 遼)

9

## 建築文化奨励賞

住宅

中古物件を楽しく住みこなす

### バスキッチンの家

二人の子のいる建築家夫婦が、元2DK、約40㎡の一戸をワンルームに改修し、自分たちで住んでいる。壁をひとつ取り払う程度のフツウの改修ではない。窓側の2室を大胆にもバスとキッチンにするというものだ。日中、おかあさんは台所にいることが多く、お風呂は家族が最もくつろぐ空間である。小さな子どもは水遊びが好きだ。住まいで今いちばん大切な空間をいちばんいい窓辺に持つてくるのは少しもおかしくない。子どもが小さいうちは、狭くてもいつも40㎡丸ごと使えるほうが体感的な面積は広がる。

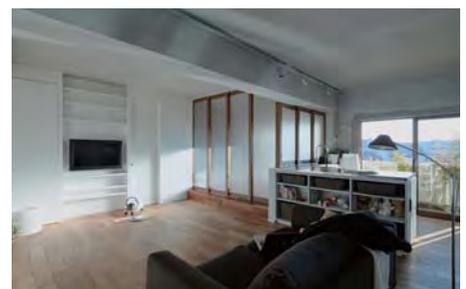
この住戸のあるマンションは、現行容積率では既存建物を大きく下回る延べ床面積しか確保できないため、老朽化していても不動産経営的には建て替えられない。このような訳あり中古物件は、家族が育ってくる時期に、失敗を恐れず住みこなすトレーニングをするにはもってこいだ。

更新時期を迎える建物が増える一方、既存不適格で建替えの現実的でない建物も顕在化してきている。しかも住宅需要は減り、時代遅れの中古物件ほど余るのは確かだ。本プロジェクトは、マンションの一室の改修でしかないが、ライフステージに合わせて自在に住みこなしていく気楽で豊かな住遍歴を提案することで、ストック時代の建物との付き合い方について再考を迫っている。  
(岡部 明子)

建築主：S氏  
設計：鹿内健建築事務所一級建築士事務所  
施工：有限会社伸栄  
所在地：船橋市



全体写真



浴室利用時

(撮影/鳥村鋼一写真事務所 鳥村 鋼一)

## 千葉県建築文化賞の実績(応募点数・受賞作品数)一覧

回数	年度	応募総数	建築文化賞				建築文化奨励賞
			景観上優れた	ユニバーサルデザインに配慮	環境に配慮	計	
1	H6	192	3	3	—	6	—
2	H7	73	3	3	—	6	—
3	H8	83	3	2	—	5	4
4	H9	87	4	1	—	5	5
5	H10	106	2	0	2	4	5
6	H11	101	2	2	2	6	3
7	H12	63	3	1	2	6	4
8	H13	88	2	2	2	6	2
9	H14	71	2	1	2	5	4
10	H15	79	3	2	0	5	4
11	H16	63	1	2	1	4	3
12	H17	92	3	1	2	6	1
13	H18	71	3	0	1	4	4
14	H19	53	1	1	1	3	5
15	H20	57	3	1	1	5	1
16	H21	68	2	1	1	4	4
17	H22	71	2	0	2	4	3
18	H23	108	2	1	3	6	3
19	H24	74	2	2	2	6	3
20	H25	68	一般建築物 4		住宅 2	6	2
1~20	計	1,668				102	60

※1「建築文化奨励賞」は、第3回に創設。 ※2「環境に配慮した建築物の部」は、第5回に創設。

※3「ユニバーサルデザインに配慮した建築物の部」は、第12回に創設。(第11回までは、「高齢者・障害者等に配慮した建築物の部」)

千葉県建築文化賞は、多くの皆様の協力に支えられ、回を重ねてまいりました。その間、県下の広い地域にわたり、102の建築物が受賞され、それぞれの地域に根付いています。第21回の作品募集は、平成26年夏頃行う予定です。皆様方の御応募をお待ちしております。

10

### 選考の基準

次の事項を選考の基準とし、総合的に審査します。

- デザイン性に優れていること
- まちなみや周辺の景観と調和がとれていること
- 安全で快適な建築空間を創出していること
- 環境負荷の低減に配慮していること
- 防災への配慮がなされていること
- 施工上優れていること
- その他、独自の取組や提案がなされていること

※建築基準法等の諸法令に適合しており、かつ近隣等との紛争が生じていないことも求められます。

### 千葉県建築文化賞選考委員会

- |                        |                               |
|------------------------|-------------------------------|
| 委員 長 北原 理雄：千葉大学名誉教授    | 委員 青柳 英俊：一般社団法人千葉県建築士会名誉会長    |
| 副委員長 岩村 和夫：東京都市大学大学院教授 | 委員 岡部 明子：千葉大学大学院教授            |
|                        | 委員 夏目 幸子：建築家、NPO 住まい・まち研究会理事長 |
|                        | 委員 藤本 香：建築士、千葉大学非常勤講師         |

【敬称略 委員は五十音順】

第20回千葉県建築文化賞に御応募いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。応募総数68点の中から6点が千葉県建築文化賞、2点が千葉県建築文化奨励賞に選定されましたが、応募作品はすべて優れた特徴をもった質の高い作品でした。

作品に携わられた皆様に敬意を表し、今後ますますの御活躍を期待しております。

(千葉県建築文化賞選考委員会事務局)

# 千葉県建築文化賞創設20周年記念特集

## 千葉県建築文化賞の20年

千葉県建築文化賞選考委員会委員長 北原 理雄

人びとが集まって地域の暮らしをつくり、建築物が集まって暮らしの場をつくってきました。まちなみや環境と調和し、安全で快適な暮らしを支える建築物は、地域の健全な発展を助け、豊かな文化をはぐくみます。千葉県建築文化賞は、こうした働きをする質の高い優れた建築物を表彰することにより、建築文化と居住環境に対する人びとの意識を高め、うるおいとやすらぎに満ちた快適なまちづくりを促進することを目的にしています。

建築文化賞が創設されてから20年が経過しました。この間に寄せられた応募は合計1,668件にのぼります。平均すると毎年80件を超える応募があったことになります。しかし、社会情勢による変動があり、景気低迷が長引いた2007年、2008年には応募数が50件台に落ち込みました。こうした困難を乗り越えてこの賞が継続してこられたのは、きびしい条件のなかで良質な建築物を世に送りだし、応募してくださった多くの方々のおかげです。この場を借りて、改めてお礼を申し上げます。

11 建築文化賞は、地域環境の質を高める建築物を表彰してきました。これらの優れた建築物を生み出したのは建築主、設計者、施工者の熱意と息の合った協力にほかなりません。設計者に目を向けると、全国、さらに世界を舞台に活躍している方々の作品が多く含まれています。これらは千葉県の建築文化を向上させるうえで大きな役割を果たしています。その一方で、私たちは県内の設計者の貢献にも細心の注意を払ってきました。20年間の建築文化賞受賞作品は合計102件ですが、そのうち26件が県内設計者によるものです。4件に1件の割合になります。首都に隣接する千葉県にあって、こうした地域の力は大変心強いものです。また、第3回から奨励賞を設け、ごく小規模なもの、あるいは多少荒削りなものでも、困難な制約のなかで工夫をし、意欲的な可能性を示している建築物を評価することにしました。こちらは18年間で合計60件の受賞作品のうち24件が県内設計者による作品で、実に4割を占めています。そこには中小の設計組織、若手設計者の地域に根づいた努力が反映しています。

発足時の建築文化賞には「景観に配慮した建築物」と「高齢者・障害者に配慮した建築物」の2部門が設けられていました。その後、1998年に「環境に配慮した建築物」の部を設け、2005年に「高齢者・障害者に配慮した建築物」を「ユニバーサルデザインに配慮した建築物」の部に改め、2008年に継続活動によって景観の維持・向上を実現している建築物群を景観部門の対象に加えました。これらは景観、高齢者・障害者、環境、生活者、まちなみなど、その時々々の社会の要請に建築文化賞が対応してきた足跡です。しかし、近年は景観部門の応募数に比べて、ユニバーサルデザイン部門が1/5、環境部門が1/3と部門間の不均衡が目立ってきました。前向きに解釈すると、利用者への配慮、環境保全への配慮がそれだけ普及したということでしょう。そこで今回から建築物の原点に立ち返り、「一般建築物」と「住宅」の2部門で募集を行うことにしました。

千葉県建築文化賞は、これからも社会の要請に応えつつ、優れた建築物を顕彰し、地域の文化を豊かにする質の高いストック形成をお手伝いしていきます。皆さまのいっそうのお力添えをお願いいたします。

# 千葉県建築文化賞過去表彰作品の紹介

## 第1回 (1994年)



撮影 / 浅井慎平

**海岸美術館**  
(景観)

建築主：(株)モスフードサービス  
設計：(株)石井和雄建築研究所  
施工：大成建設(株)千葉支店  
所在地：南房総市千倉町川戸柏尾550

1990年代に入ったばかりの頃、変わりゆくこの国の風景に疑問を抱いていた。人間は生きていくのに人工を選択したのだが、自然との調和を忘れたのではないのだろうか。海岸美術館は自然と人工の調和のシンボルとして「美術館のある風景」を目的に造られた。幸いそのことは理解され建築文化賞を受け、その後もその空間は成長を続けている。あらためて感謝をし、今後も一層の支援を願っている。  
(H21.3 浅井慎平)



**南花園の家**  
(景観)

建築主：K氏  
設計：(株)カトーアソシエイツ  
施工：三建建築創作(株)  
所在地：千葉市花見川区南花園



**竹中工務店  
技術研究所**  
(景観)

建築主：(株)竹中工務店  
設計：(株)竹中工務店  
施工：(株)竹中工務店  
所在地：印西市大塚1丁目5-1



**鴨川市総合  
保健福祉会館**  
(高齢者・障害者)

建築主：鴨川市  
設計：(株)榎本建築設計事務所  
施工：清水建設・富士建工業共同企業体  
所在地：鴨川市八色887-1



**中銀  
ライフケア白井**  
(高齢者・障害者)

建築主：中銀マンション(株)  
設計：(株)新居千秋都市建築設計  
施工：(株)フジタ東京支店  
所在地：臼井市堀込



**市川の家**  
(高齢者・障害者)

建築主：K氏  
設計：KATO建築設計室  
施工：(株)第一工務店  
所在地：千葉市市川市新田

撮影 / 秋山実

## 第2回 (1995年)



**千葉市立打瀬小学校**(景観)

建築主：千葉市  
設計：シーラカンズ

施工：鉄高・松栄共同企業体  
所在地：千葉市美浜区打瀬1丁目

新しい街が生まれ、同時に千葉市立打瀬小学校が1995年に完成した。オープンスクール形式、低層街区型、街に開かれた学校は熱心な教育もあって最大限に活かされ、この学校の魅力が新たな住人を引き付け、街は大きく発展している。打瀬小学校での提案は、この街の小学校の伝統として、3校目の美浜打瀬小学校まで引き継がれている。  
(H21.3 シーラカンズ)



**千葉市美術館・  
千葉中央区役所**(景観)

建築主：千葉市  
設計：(株)大谷研究室  
施工：清水・西松・ナカノ・三菱共同企業体  
所在地：千葉市中央区中央3丁目



**バティオス**  
(景観)

所在地：千葉市美浜区打瀬2丁目



**雇用促進事業団ポリテクセンター  
千葉研修寮**(高齢者・障害者)

建築主：雇用促進事業団千葉職業能力開発促進センター  
設計：(株)榎本建築設計事務所  
施工：長谷工・青山建設共同企業体  
所在地：千葉市若葉区愛生町165-2



撮影 / 廣田治雄

**厚生年金  
サンテル千葉**  
(高齢者・障害者)

建築主：千葉県  
設計：(株)日本設計  
施工：安藤・三井・福田・鈴木建設  
工事共同企業体  
所在地：千葉市中央区八戸名682-67



**釘持邸**  
(高齢者・障害者)

建築主：K氏  
設計：加瀬澤建築設計室 加瀬澤文芳  
施工：大坪清次  
所在地：木更津市高砂

## 第3回 (1996年)



撮影／新建築社写真部

### 千葉県立幕張総合高等学校 (景観)

建築主：千葉県  
 設計：(株)榎本建築設計事務所  
 施工：戸田・鉄建・富士工・石川特定建設工事協同企業体  
 奥村・新日本・式田特定建設工事共同企業体  
 松栄・杉田特定建設工事共同企業体  
 所在地：千葉市美浜区若葉3-1-1

この学校のもっとも象徴的な部分は、多様性を持ったループ型の平面上に展開する、大胆な開口や吹き抜けによる断面的な透過性の高さではないかと思う。いわば横にも縦にも繋がりが合った体系的な構成によって、その空間の中に映り込む生徒たちの賑わいや自由・活発な学校環境を直感的に読み取ることができる。

(H21.3 榎本建築設計事務所)



撮影 エッセイ東京 石井哲夫

### 印西市中央駅北 コミュニティセンター(景観)

建築主：印西市  
 設計：(株)日建設計  
 施工：住友建設(株)  
 所在地：印西市木川4-3



### 千倉・海の住宅(景観)

建築主：S氏  
 設計：(有)黒木実建築研究所  
 施工：加藤工務店 加藤 清  
 所在地：南房総市千倉町瀬戸



撮影／ABE工房

### 西川邸(高齢者・障害者)

建築主：N氏  
 設計：(株)榎本建築設計事務所  
 施工：新日本建設(株)  
 所在地：市原市菊間



### 船橋の家(高齢者・障害者)

建築主：N氏  
 設計：(有)アトリエCOSMOS  
 施工：(有)持井工務店  
 所在地：船橋市高根台

## 第4回 (1997年)



### かずさアカデミアホール (景観)

建築主：千葉県  
 設計：(株)坂倉建築研究所  
 施工：(株)竹中工務店・三井建設(株)・(株)銭高組  
 所在地：木更津市矢那1637

ここ5年間の年平均利用件数は約1360件、開館から9年を経た平成17年度には累計1万件を超えるなど、多くの市民や産学官の方々に利用され、国際会議や学会を通じて産業振興に、音楽コンクールやセミナーを通じて地域文化の振興に貢献している。平成16年にはその利用状況が評価され、第9回公共建築賞優秀賞を受賞している。

(H21.3 坂倉建築研究所 横田重雄)



### 大多喜町立 大多喜小学校 (景観)

建築主：大多喜町  
 設計：(株)榎本建築設計事務所  
 施工：(株)屋代工務店・式田建設工業(株)  
 所在地：夷隅郡大多喜町大多喜12



撮影／ナカサ&パートナーズ 繁田諭

### 和洋女子大学 佐倉セミナーハウス(景観)

建築主：学校法人和洋学園  
 設計：ナンシー・フィンレイ+千葉学  
 /ファクターエヌアソシエイツ  
 施工：戸田建設(株)  
 所在地：佐倉市ユカリが丘5-4-1



撮影／小林浩志/スパイラル

### 木更津の家(大澤邸) (景観)

建築主：O氏  
 設計：濱田昭夫  
 (TAC濱田建築設計事務所)  
 施工：(株)新昭和  
 所在地：木更津市清見台



撮影／(有)アラ井建築写真事務所

### 浦安市 当代島公民館 (高齢者・障害者)

建築主：浦安市  
 設計：(株)久米設計  
 施工：西松建設(株)  
 所在地：浦安市当代島2-14-1

## 第5回 (1998年)



**日本コンベンションセンター  
国際展示場9～11ホール  
(景観)**

建築主：千葉県  
設計：(株)横総合計画事務所  
施工：清水建設(株)・(株)大林組・三井建設(株)  
所在地：千葉市美浜区中瀬2-5

既存施設と形態的連続性をもったフォルムで設計することにより、幕張メッセ全体に調和を生み出し、日々成長していく「幕張新都心」のランドマークとしての役割を果たしてきた。開業20周年を迎え、今後とも我が国を代表するコンベンション施設として、一層の発展が期待されている。(H21.3 千葉県)



撮影/富田 治

**志方邸(景観)**

建築主：S氏  
設計：アーキテクトファイブ  
堀越英嗣+松岡拓公雄+川村純一+十城戸崎博孝  
施工：(株)屋代工務店  
所在地：いすみ市呷町



撮影/秋山 実

**鬼越の家(環境)**

建築主：N氏  
設計：加藤武志建築設計室  
施工：(株)中川工務店  
所在地：市川市鬼越



撮影/(株)アプル総合計画事務所

**すだれの家(環境)**

建築主：NE氏  
設計：中野恒明+アプル総合計画事務所  
施工：(株)岡本工務店  
所在地：浦安市入船

## 第6回 (1999年)



**印西市ふれあい文化館  
(景観)**

建築主：印西市  
設計：(株)石本建築事務所

施工：鹿島建設(株)東京支店 千葉営業所  
所在地：印西市原3丁目4番地

千葉ニュータウン印西牧ノ原に位置する、公民館・図書館・児童館・老人福祉センターの4つの施設からなる複合施設。施設中心に配置されたガラスのアトリウムを施設全体のエントランスホールとし、世代を超えた多種多様な出会いと交流を、目的に応じた学習の場として地域のコミュニケーションの拠点となっている。(H21.3 石本建築事務所)

撮影/エスエス東京



撮影/チカサ&パートナーズ

**アミューゼ柏  
(景観)**

建築主：柏市  
設計：(株)日本設計  
施工：東急建設(株)東関東支店・  
(株)長谷川工務店・齋藤建設(株)  
所在地：柏市柏6丁目2-22



撮影/夏目勝也

**指宿邸  
(高齢者・障害者)**

建築主：Y氏  
設計：夏目設計事務所  
施工：(有)木源ハウジング  
所在地：習志野市大久保



撮影/北爪幸雄

**社会福祉法人希桜会  
ケアハウス  
サニー秋桜  
(高齢者・障害者)**

建築主：社会福祉法人希桜会  
設計：(株)榎本建築設計事務所  
施工：(株)鴻池組 東京本店  
所在地：千葉市若葉区東寺山町2-6



**君津市保健福祉センター  
ふれあい館(環境)**

建築主：君津市  
設計：(株)坂倉建築研究所  
施工：新日本製鐵(株)・大野屋建設(株)  
所在地：君津市久保2-13-1



撮影/松浦龍明

**ガーデンプラザ新検見川(環境)**

建築主：鹿島建設(株)  
設計：鹿島建設(株)一級建築士事務所  
施工：鹿島建設(株)東京支店 千葉営業所  
所在地：千葉市花見川区瑞穂

## 第7回 (2000年)



撮影/エクス東京

### キョーマン野田本社屋 (景観)

建築主：キョーマン株式会社  
設計：(株)石本建築事務所

施工：(株)竹中工務店東関東支店  
所在地：野田市野田250番地

三百数十年の歴史を持つ醤油醸造企業の本社ビル。建物を日本の伝統的な分棟構成で配置し、隣接する蔵の意匠を基調に、低くおさえた陸屋根と水平に連続する開口部、庇や水平ルーバーなどによって街並みに調和させている。事務所棟の南北面採光、日射制御のためのルーバー、エアフローカーテンウォール、自然通風、自動調光など、「人と環境に優しい施設」を実現している。  
(H21.3 石本建築事務所)



撮影/栗原写真事務所

### しゅはり本店 (景観)

建築主：株式会社しゅはり  
設計：株式会社スタジオ宙  
施工：株式会社しゅはり  
所在地：香取市佐原イ531番地



撮影/黒川スタジオ

### 風の村 (高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 たすけあい倶楽部  
設計：(株)双立デザイン設計事務所  
施工：佐藤工業(株)関東支店  
所在地：八街市東吉田912-8



撮影/イースタン写真高岡淳

### ば・る・るプラザ千葉(当時) (景観)

建築主：郵政省(当時)  
設計：郵政省大臣官房建築部(当時)  
施工：(株)奥村組東京支社  
共立建設(株)東京支社  
東鉄工業(株)[共同企業体]  
所在地：千葉市中央区富士見1丁目3-2



撮影/篠澤建築写真事務所

### 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所(環境)

建築主：日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所  
設計：株式会社日建設  
施工：(株)熊谷組・大成建設(株)・(株)竹中工務店[共同企業体]  
所在地：千葉市美浜区若葉3丁目2-2



### 日本大学理工学部 船橋校舎3号館 (環境)

建築主：日本大学理工学部  
設計：大成建設(株)一級建築士事務所  
施工：大成建設(株)千葉支店  
所在地：船橋市留志野台7-24-1

## 第8回 (2001年)



撮影/窪田勝良

### ディアフレンズ美浜 (高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 春陽会  
設計：(株)榎本建築設計事務所

施工：矢作建設工業株式会社東京支店  
所在地：千葉市美浜区磯辺2-21-1

外装にあえて木を多用することは、自然素材の持ち味を通して内外空間や街並みの中にやさしさ・温かみと同時に、経年とともに緩やかに移りゆく様相を表すことであった。現在では竣工当時の木の真新しさを入れ替わるように、意義深い生活環境として地に根が大きく広がり、充実した時を刻み続けている建築と思う。  
(H21.3 榎本建築設計事務所)



### 大多喜町立 老川小学校 (景観)

建築主：大多喜町  
設計：(株)榎本建築設計事務所  
施工：山本建設株式会社  
所在地：夷隅郡大多喜町小田代524-1



### 千葉市立 海浜打瀬小学校 (景観)

建築主：千葉市  
設計：(株)桑田建築設計事務所  
施工：新日本建設株式会社  
松栄建設株式会社[共同企業体]  
所在地：千葉市美浜区打瀬3丁目地内



### ヴォーネン本塾 (高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 六親会  
設計：森田建築設計事務所  
施工：株式会社 石川組  
所在地：印旛郡本塾村登神1620



撮影/エクス東京横瀬博

### エコビレッジ松戸(環境)

建築主：財団法人 電力中央研究所  
設計：大成建設(株)一級建築士事務所  
施工：大成建設(株)千葉支店  
所在地：松戸市小金原1-19-1



### 周郷建設新社屋(環境)

建築主：S氏  
設計：(株)川口建築設計事務所  
施工：周郷建設株式会社  
所在地：八千代市大和田新田406

## 第9回 (2002年)



**木と住まいの情報館 モクイチ**  
(景観)

建築主：千葉県木材市場協同組合  
設計：(株)アルセツ建築研究所  
施工：古谷建設(株)(共同企業体)・吉岡建設(株)(共同企業体)  
所在地：東金市山田800

地元木材情報発信基地として魅力ある空間を持ち、高耐震、高耐久、高性能で汎用性の高い木造建築モデルを実現した。県産杉を断面構成等の工夫で構造材として活用可能とし、地域への愛着と高い技術を持つ地域大工等が建設に参加できる金物を用いない木組みの構造・構法とした。昨年は2400名弱の利用者があり、木組みや多様な空間活用に興味を惹かれつつ活発に利用されている。

(H21.3 千葉県木材市場協同組合)

撮影／中尾研二



**幕張ベイタウン・コア**  
(景観)

建築主：千葉県企業庁  
設計：(株)設計・計画 高谷時彦事務所  
施工：新日本建設(株)  
所在地：千葉市美浜区打瀬2-13

撮影／小川泰祐



**東金市保健福祉センター**  
(景観)

建築主：東金市  
設計：(株)日本設計  
施工：鹿島建設(株)東京支店  
所在地：東金市田間421

撮影／沢川浩建築写真事務所



**山武みどり学園**  
(高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 翡翠会  
設計：(株)榎本建築設計事務所  
施工：戸田建設(株)千葉支店  
所在地：大網白里町大網5347

撮影／小島広行



**日本大学理工学部  
テクノプレース15(環境)**

建築主：学校法人 日本大学  
設計：日本大学理工学部 坪山幸王  
株式会社 梓設計  
施工：西松建設株式会社東関東支店  
所在地：船橋市習志野台7-24-1

撮影／平井広行

## 第10回 (2003年)



**旧 水田家住宅(景観)**

建築主：学校法人城西大学  
設計：大田建築設計研究所  
施工：(株)大林組  
所在地：鴨川市西字西平339-1

登録有形文化財として登録された旧水田家住宅は、戦後壊滅的な経済状況にあった我が国を、政治家として経済の再建・教育への支援に一心に取り組み、日本社会の飛躍的な復興に全力を注ぎ、また、昭和40年に埼玉県坂戸の地に城西大学を創立した故水田三喜男の生家である。その創立者の偉業をたたえ、後世にその功績を永遠に伝えるために生家を修復・保存することとなった。地元鴨川市をはじめ、各地から多くの方々が生家を訪れている。

(H21.3 学校法人城西大学)



**栄町総合交流拠点  
ドラムの里(景観)**

建築主：栄町  
設計：(株)環都市・建築計画事務所  
施工：共立工業(株)  
所在地：印旛郡栄町龍角寺1039-1

撮影／齋部功



**本埜ファミリア館**  
(景観)

建築主：本埜村  
設計：(株)榎本建築設計事務所  
施工：古谷建設(株)  
所在地：印旛郡本埜村滝野3-4



**小規模高齢者複合施設じゆらく**  
(高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 阿育会  
設計：夏目設計事務所  
施工：常総開発工業(株)佐原支店  
所在地：香取市佐原赤323-2

撮影／夏目勝也



**高齢者福祉施設 杜の家**  
(高齢者・障害者)

建築主：社会福祉法人 豊和会  
設計：(株)榎本建築設計事務所  
施工：佐藤工業(株)千葉営業所  
所在地：香取市岩部869-60

## 第11回 (2004年)



**四街道市南部総合福祉センター  
「わろうべの里」**  
(高齢者・障害者)

建築主：四街道市  
設計：株式会社佐藤総合計画  
施工：戸田建設株式会社 千葉支店  
所在地：四街道市和良比635-4

「わろうべの里」は、オープンして今年で6年目を迎えますが、市民が自由に参加できるワークショップによるアイデアを取り入れて設計した施設です。「誰でも、いつでも、ひとりでも、子どもからお年寄りまで、ふらっと立ち寄り、心地よく使える場所にしよう」というコンセプトどおり、年間10万人あまりの来館者が、それぞれの目的をもって交流活動を繰り広げています。(H21.3 佐藤総合計画)



**流通経済大学新松戸キャンパス(景観)**

建築主：学校法人 日通学園  
設計：清水建設株式会社一級建築士事務所  
施工：清水建設株式会社 千葉支店  
所在地：松戸市新松戸3-2-1



**三和保健福祉センター(高齢者・障害者)**

建築主：市原市  
設計：株式会社榎本建築設計事務所  
施工：株式会社鈴木組  
株式会社本吉工務店  
所在地：市原市海士有木225-4



**みつわ台の家(環境)**

建築主：I氏  
設計：株式会社結設計  
施工：佐藤建設工業株式会社 東京支店  
所在地：千葉市若葉区みつわ台

## 第12回 (2005年)



撮影／新建築社

**マブチモーター株式会社本社棟  
(環境)**

建築主：マブチモーター株式会社  
設計：日本アイ・ビー・エム株式会社  
設計：株式会社日本設計  
施工：清水建設株式会社 千葉支店  
所在地：松戸市松飛台430

ダブルスキンによる空調負荷低減+自然通風、床吹出空調+タスク空調により、開放感溢れる高天井の執務空間においても十分な省エネルギーを実現しました。また、化粧材料を極力避け、躯体そのものを仕上げとすることや、美しく年を取る本レンガ積み外装、汚れにくいディテール、自然に任せたランドスケープなどにより、メンテナンスフリーを推進し、100年建築を目指しました。(H21.3 日本設計)



撮影／三輪見久写真研究所

**城西大学  
鋸南セミナー  
ハウス(1期)  
(景観)**

建築主：学校法人城西大学  
設計：株式会社久米設計  
施工：清水建設株式会社千葉支店  
所在地：安房郡鋸南町下佐久間字西田子道上1510-2



**東京理科大学  
薬学部  
新キャンパス  
(景観)**

建築主：学校法人東京理科大学  
設計：株式会社松田平田設計  
施工：清水建設株式会社  
所在地：野田市大字山崎北亀山2668他



撮影／三輪見久写真研究所

**AIR HUT  
(えあはっと)  
(景観)**

建築主：M.O氏 Y.T氏  
設計：大成建設株式会社一級建築士事務所  
施工：大成建設株式会社千葉支店  
所在地：流山市



撮影／三輪見久写真研究所

**特別養護老人ホーム  
市原園・軽費老人ホーム  
浜泉荘(ユニバーサルデザイン)**

建築主：社会福祉法人 昭和村  
設計：株式会社榎本建築設計事務所  
施工：西松建設株式会社東関東支店  
所在地：市原市万田野732-6



撮影／三輪見久写真研究所

**日本大学理工学部  
船橋校舎14号館(環境)**

建築主：学校法人日本大学  
設計：株式会社日本設計  
施工：大成建設株式会社千葉支店  
所在地：船橋市習志野7-24-1

## 第13回 (2006年)



**東京大学柏キャンパス新領域環境棟**  
(環境)

建築主：国立大学法人 東京大学  
(計画コンセプト・建築設計ディレクション：大野秀敏+東京大学大野研究室)  
設計：日本設計・大成建設設計共同企業体  
施工：大成建設株式会社千葉支店・株式会社関電工千葉支店  
所在地：柏市柏の葉5-1-5

東京大学柏キャンパスは、本郷、駒場とともに東大の三極構造の一極を構成し、知の冒険と新しい学問領域の創造を目指す。環境棟は大学院研究科の教育研究棟としてPFI手法を採用して整備された。ローコストの条件下で優れた環境建築を追求している。大学の専門家も積極的に参加し事業者と共同して個性的な建築を実現した。  
(H21.3 東京大学 大野秀敏)

撮影／川澄建築写真事務所



**千葉市立美浜打瀬小学校**  
(景観)

建築主：千葉市  
設計：株式会社シーラカンスアンドアソシエイツ  
施工：新日本・池田工建設共同企業体  
所在地：千葉市美浜区打瀬2丁目

撮影／小林浩志



**とみうら元気倶楽部**  
(景観)

建築主：南房総市  
設計：株式会社榎本建築設計事務所  
施工：株式会社熊谷組 首都圏支店  
所在地：南房総市富浦町原岡88-2

撮影／篠澤建築写真事務所



**歳替え(鴨川・質蔵のリフォーム)**  
(景観)

建築主：I氏  
設計：野口修アーキテクトアトリエ  
施工：ホームドクターハウモン株式会社  
所在地：鴨川市

## 第14回 (2007年)



**四街道さつき幼稚園**  
(景観)

建築主：学校法人下志津学園  
設計：仙田満 + 環境デザイン研究所  
施工：株式会社千葉工業  
所在地：四街道市下志津新田2531-9

四街道さつき幼稚園の改築・耐震補強にあたっては、周辺環境との調和を心がけて設計を行っています。この1年で竹林や植栽と馴染む色合いの建物屋根・外壁(緑)、木部(赤)は一層落ち着きを帯び、また園庭の植栽や園参加で創られたビオトープも大きく成長を見せ、幼児たちの保育、環境教育の場として積極的に活用されています。  
(H21.3 環境デザイン研究所)

撮影／環境デザイン研究所



**エルプレシア(ユニバーサルデザイン)**

建築主：扶桑レクセル株式会社、有楽土地株式会社  
設計：株式会社日建ハウジングシステム  
施工：株式会社関組  
所在地：八千代市ゆりのき台3-4-4

撮影／扶桑レクセル株



**タクボエンジニアリング 東金テクニカルセンター(環境)**

建築主：タクボエンジニアリング株式会社  
設計：清水建設株式会社一級建築士事務所  
施工：清水建設株式会社千葉支店  
所在地：東金市丘山台2-7

撮影／石垣写真研究所

## 第15回 (2008年)



撮影／高橋賢一

### 香取市佐原歴史的景観形成地区 (景観)

活動団体：特定非営利活動法人小野川と佐原の町並みを考える会  
建築物群の所在地：香取市佐原イ1901番地外

香取市佐原歴史的景観形成地区は、中心部を国の重要伝統的建造物群保存地区としている。歴史的建造物の修理・修景は、150棟程が行われ、昭和初期の町並みが再生し、多くの観光客が訪れている。東日本大震災により半数の建造物に被害が生じた。特に県指定文化財8件13棟の被害が甚大であったが、現在はほぼ修復が完了している。  
(H26.3 小野川と佐原の町並みを考える会)



撮影／三輪見久写真研究所

### 開成学園那古宿舎 (景観)

建築主：学校法人開成学園  
設計：大成建設株式会社  
一級建築士事務所  
施工：大成建設株式会社千葉支店  
所在地：館山市那古



撮影／新建築社写真部

### 竹中工務店東関東支店 (景観)

建築主：株式会社竹中工務店  
設計：株式会社竹中工務店  
施工：株式会社竹中工務店  
所在地：千葉市中央区中央港1-16-1



### 船橋市立リハビリテーション 病院 (ユニバーサルデザイン)

建築主：船橋市  
設計：株式会社日本設計  
施工：奥村・木村・京成特定建設工事  
共同企業体  
所在地：船橋市夏見台4丁目26番1号

### 千葉県自治会館 (環境)

建築主：千葉県市町村総合事務組合  
設計：株式会社日建設計  
施工：鹿島・旭特定建設工事共同企業体  
所在地：千葉市中央区中央4丁目17番8号



## 第16回 (2009年)



### 神田外語大学7号館 (環境)

建築主：学校法人佐野学園  
設計：株式会社松田平田設計  
施工：大成建設株式会社千葉支店  
所在地：千葉市美浜区若葉1-4-1

神田外語大学は「言葉は世界をつなぐ平和の礎」をテーマに、幕張で26年に渡り世界の懸け橋となる人材を育み、7号館もその一翼を担っている。再現したアジアの街並みの中で学ぶMULCは留学生や学生の交流の場となり、カフェ、ホール、屋上緑化は地域に開かれ親しまれている。今後は建築文化賞受賞の環境を活かし、地域と世界をつなぐ懸け橋になることを願っている。  
(H26.3 株式会社 松田平田設計 軍司 均)



### 回向院市川別院 (景観)

建築主：宗教法人回向院  
設計：麗原泰建築研究室  
施工：松井建設株式会社  
所在地：市川市国府台5-26-12



撮影／村角創

### 音楽ホールのある家 (景観)

建築主：松岡氏  
設計：龍口元哉建築設計事務所  
施工：株式会社大畑工務店  
所在地：鎌ヶ谷市初富本町



### 産経新聞印刷千鳥センター (ユニバーサルデザイン)

建築主：株式会社産業経済新聞社  
設計：株式会社サンケイビルテクノ  
設計：鹿島建設株式会社一級建築士事務所  
施工：鹿島建設(株)東京建築支店  
所在地：浦安市千鳥9番地4

## 第17回 (2010年)



**東光電気工事株式会社市川センター**  
(景観)

建築主：東光電気工事株式会社  
設計：鹿島建設株式会社一級建築士事務所  
施工：鹿島・大林共同企業体  
所在地：市川市新田4丁目18-16

沿道空間を引き込み、気軽に立ち寄れることを意図した中庭は、四季毎に実る豊かな緑であふれ、行きかう人々に親しみと安らぎを与えている。現在でも老若男女を問わず、夕涼みや散歩、子供の昆虫採集やボール遊びなど、地域の中庭として有効に活用されている。また、建築全体を間接的にライトアップする照明デザインは、街角を照らし、地域住民の安全安心に貢献している。

(H26.3 鹿島建設株式会社)



**新日本製鐵君津製鐵所本館**  
(景観)

建築主：新日本製鐵株式会社君津製鐵所  
設計：株式会社竹中工務店  
施工：株式会社竹中工務店  
所在地：木更津市築地1番1



**日本貨物航空株式会社ライン整備ハンガー**  
(環境)

建築主：日本貨物航空株式会社  
設計：新日鉄エンジニアリング株式会社一級建築士事務所  
施工：新日鉄エンジニアリング株式会社  
所在地：成田市成田国際空港内



**竹中技術研究所・耐火実験棟**  
(環境)

建築主：株式会社竹中工務店  
設計：株式会社竹中工務店  
施工：株式会社竹中工務店  
所在地：印西市大塚1-5-1

20

## 第18回 (2011年)



**ホキ美術館**  
(景観)

建築主：株式会社ホキ美術館  
設計：株式会社日建設計  
施工：清株式会社大林組  
所在地：千葉市緑区あすみが丘東3-15

撮影／野田 東徳

美術館オーナーである保木将夫氏は、ご自身がお住いの土気の街に貢献したいとの思いからこの美術館を企画された。竣工開館からすでに3年半「美術館のある街」として定着し、地元からも愛されている。保木氏の素晴らしいコレクションを次世代に残し、少しでも多くの方に見ていただけるお手伝いができたことは何よりの喜びである。

(H26.3 日建設計)



**いすみ市立  
岬中学校**  
(環境)

建築主：いすみ市  
設計：株式会社日本設計  
施工：新日本建設株式会社  
所在地：いすみ市岬町椎木1370番地

撮影／日暮 雄



**Villa99 I 期  
(OMOYA)**  
(環境)

建築主：鈴木敬一  
設計：鈴木隆+更田卓司+  
(株)ARKプランニング  
施工：(株)ARKプランニング  
所在地：山武市下横地

撮影／鈴木 隆



**幕張インターナショナルスクール**  
(景観)

建築主：学校法人幕張インターナショナルスクール  
設計：株式会社シーラカンスアンドアソシエイツ  
施工：株式会社群緑工務店  
所在地：千葉市美浜区若葉3-2-9

撮影／ダイワカイ



**竹内医院**  
(景観)

建築主：竹内弘  
設計：空間研究所  
施工：株式会社佐藤秀  
所在地：富津市大堀2丁目14-15

撮影／日暮 雄



**千葉流古民家  
再生術**  
(環境)

建築主：川添賢二  
設計：井川建築設計事務所  
施工：共新建設株式会社  
所在地：富里市中沢1161

撮影／石井 雅義

## 第19回 (2012年)



撮影／西川公明

### 大多喜町役場庁舎 (景観)

建築主：大多喜町  
設計：株式会社千葉学建築計画事務所  
施工：大成建設株式会社千葉支店  
所在地：夷隅郡大多喜町大多喜93番地

大多喜町役場は、「時間と空間を紡ぐ」ようにして生まれた。今井兼次という近代建築の巨匠による旧役場の門型の構造体、大多喜に残る江戸時代からの町家に見る小屋裏空間、それらが鉄骨の門型フレームの重層する柔らかな光に充ちた空間に継承されている。旧役場の改修とも一体となり、様々な時間は地層のように折り重なっている。  
(H26.3 千葉 学)



### さくさべ坂通り 診療所 (ユニバーサルデザイン)

建築主：さくさべ坂通り診療所  
設計：加藤武志建築設計室  
施工：株式会社中野工務店  
所在地：千葉市中央区椿森6丁目8番11号



### 雑木林のまち (環境)

建築主：旭興産株式会社  
設計：有限会社ヤクソジ  
建築デザイン事務所  
施工：清水建設株式会社千葉支店  
所在地：袖ヶ浦市代宿穴田97-22地

撮影／中塚雅晴



撮影／新建築社

### 桜井邸／多面体の屋根 館山 (景観)

建築主：桜井氏  
設計：横河健／横河設計工房  
施工：糸平興産株式会社  
所在地：館山市正木字干潟1256-1



### 南流山の家 (ユニバーサルデザイン)

建築主：工藤 義幸  
設計：丸山耕平建築設計事務所  
施工：常陽建設株式会社  
(ASJつくばスタジオ)  
所在地：流山市宮園



### 柏市立 柏の葉 小学校 (環境)

建築主：柏市  
設計：株式会社INA新建築研究所  
施工：関東・永岡特定建設工事共同企業体  
+椎名・助川特定建設工事共同企業体  
所在地：柏市十余二348番地51 中央404街区1

## 歴代の選考委員一覧

青山 靖	(社)千葉県建築士事務所協会会長	H6~H8	高梨 嘉己	(福)千葉県社会福祉協議会常務理事	H9~H10
明智 克夫	社団法人千葉県建築士会名誉会長	H6~H19	荒 孝一	千葉県社会部長	H9~H10
石井 信義	千葉県建設業協会会長	H6	齋藤 市衛	千葉県都市部長	H9
海老根 寧	(福)千葉県身体障害者福祉協会理事長	H6~H10	岩村 和夫	東京都市大学大学院教授	H10~
川上 昌子	淑徳大学社会学部教授	H6~H13	伊能 楯雄	千葉県都市部長	H10
北原 理雄	千葉大学名誉教授	H6~	神林 保夫	(福)千葉県身体障害者福祉協会常務理事	H11~H13
工藤 和美	建築家	H6~H11	君塚 洋司	(福)千葉県社会福祉協議会常務理事	H11~H12
周郷 紀男	(社)千葉県建築士会名誉会長	H6~H13	佐藤 喜美子	千葉県健康福祉部長	H11~H12
鈴木 民三	千葉県社会福祉協議会会長	H6	田辺 英夫	千葉県都市部長	H11
鶴巻 昭二	新日本建築家協会・千葉代表	H6~H7	五十嵐 浩	(社)千葉県建築士事務所協会前会長	H12~H13
野口 瑠璃	工業・環境デザイナー	H6~H21	篠原 聡子	日本女子大学家政学部准教授	H12~H19
守屋 秀夫	昭和音楽大学教授・千葉大学名誉教授	H6~H10	田中 修一	(社)日本建築家協会・千葉代表	H12~H13
山田 昇	読売新聞社写真部部長待遇	H6~H9	加藤 英一	千葉県都市部長	H12
西川 達男	千葉県社会部長	H6	前田 浩一	(福)千葉県社会福祉協議会常務理事	H13
木内 政成	千葉県都市部長	H6	山本 博	(社)千葉県建設業協会建築担当委員	H13
辻 宣志	(社)千葉県建設業協会専務理事	H7~H12	松戸 和雄	千葉県健康福祉部長	H13
渡邊 保	(福)千葉県社会福祉協議会常務理事	H7~H8	東城浩光	千葉県都市部長	H13
石橋 暎壽	千葉県社会部長	H7~H8	夏目 幸子	建築家、NPO住まい・まち研究会理事長	H14~
久我 陽一	千葉県都市部長	H7	梅田 勝	千葉県健康福祉部長	H14~H15
島貫 俊秀	(社)日本建築家協会・千葉代表	H8~H11	武間 豊夫	千葉県都市部長	H14~H15
園田 真理子	明治大学理工学部助教授	H8~H13	青柳 英俊	(一社)千葉県建築士会名誉会長	H20~
伊藤 貞雄	千葉県都市部長	H8	岡部 明子	千葉大学大学院教授	H20~
相原 敏郎	(社)千葉県建築士事務所協会相談役	H9~H11	藤本 香	建築士、千葉大学非常勤講師	H22~

※敬称略。委員肩書は最終年度当時。

## 創設20周年記念誌発刊にあたって



一般社団法人千葉県建築士会 名誉会長 青柳 英俊

この度、千葉県建築文化賞創設20周年を迎えるにあたり一言ご挨拶申し上げます。1987年に(社)千葉県建築士会が主催し、第1回「建築コンクールちば」がスタートしました。その後、1994年の第8回まで続き、この間「ちば住まいと街づくりフェア」を県と共催により開催してきました。1995年に県建築指導課のご協力の下、「建築コンクールちば」を発展名称変更し、千葉県との共催による現在の「千葉県建築文化賞」が誕生しました。この年は阪神淡路大震災の発生した年でもあります。

千葉県においても2011年に発生した東日本大地震による建物被害に、耐震性の向上や液状化対策、被災後の応急危険度判定、住民の建築相談等に官民あげて建築士が活躍していることは周知のとおりであります。建築物は安全で安心して利用できることが大前提であります。住民の意識の向上により美しい街並みや景観にも配慮した地域づくり、街づくりが近年認識されてきたことは喜ばしいことです。

公共性の高い建物では民族や性別、障害のある人も無い人も関係なく安心して利用できるユニバーサルデザインやバリアフリーの建物は今では一般的になりました。

自然エネルギーを利用した建築物や、環境負荷の低い環境にやさしい建物も賞の対象としてきましたが東日本大地震の福島原発事故以来、太陽光発電など積極的に取り入れる建築物が多くなり時代の進化を感じます。

住宅、集会所など小規模の建物では若い建築士の設計作品が多く見受けられ、作品のこだわりに建築主の笑顔が見られることは喜ばしいことであります。

一方、大規模な建築物では大手の設計事務所、建設会社大手ゼネコンの設計作品が多く、やはり若い建築士の活躍を感じます。また、伝統的な木造建築物も賞の対象としており、木造の技術的な継承を次の世代に残さなければならぬと考えています。

震度6弱以上の地震は毎年のように発生しており、国は既存建物の耐震化対策を奨励しています。この耐震改修にも防災への配慮、施工上の観点から賞の対象としています。

過去に受賞された作品を振り返ると、当初は県内、設計事務所の作品が大部分でありましたが近年は東京、茨城県をはじめとする近隣の事務所から応募される作品の受賞が多くなり、それだけ作品のレベルが高くなっていることを実感しています。

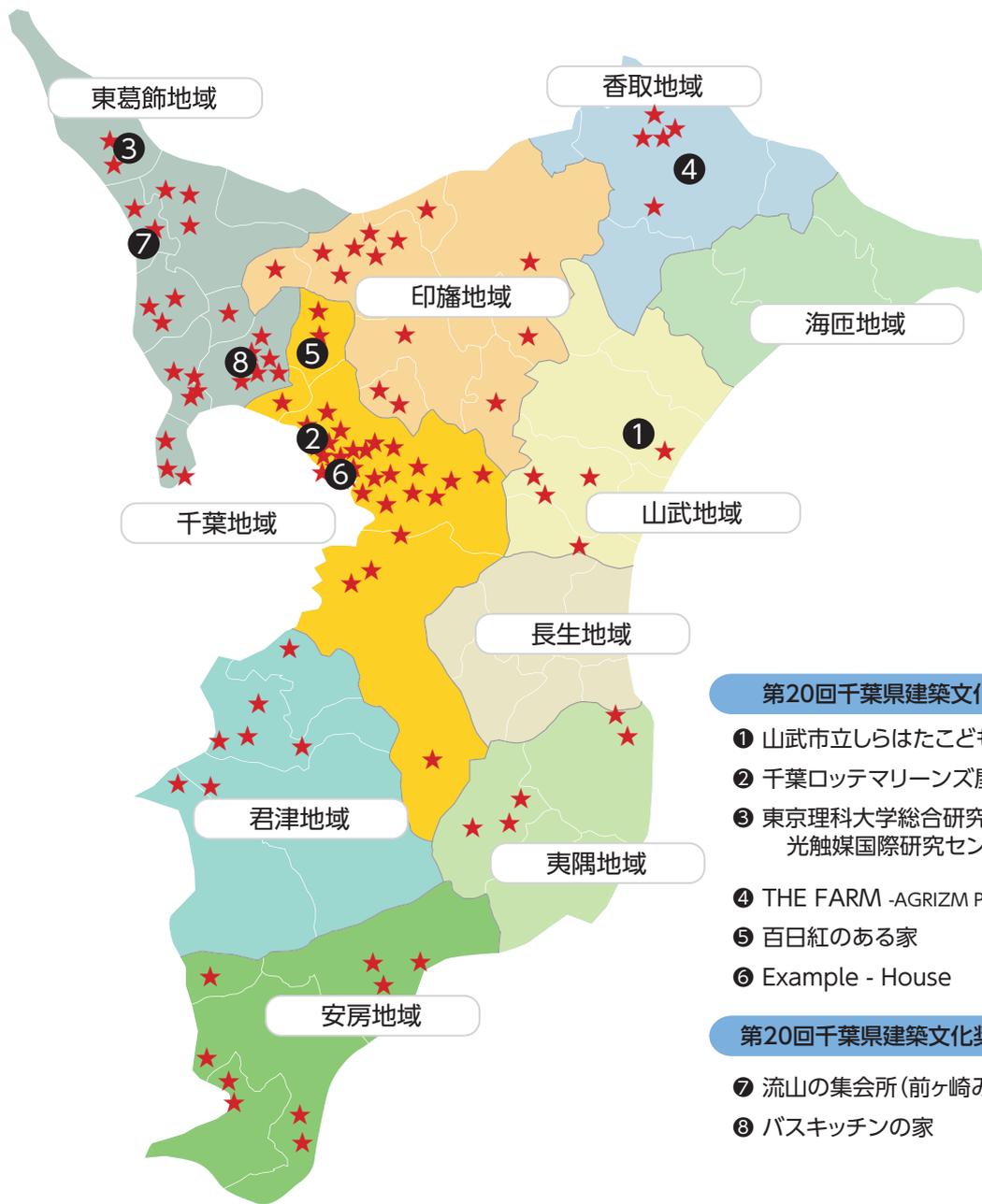
建築士の責務が厳しく求められるなか、法律はむろん新しい建材、資材の知識を得ることが建築士に求められ、進化する社会の要求に柔軟に対応する必要があります。

このことは建築文化の向上につながり、建築士全体のレベルアップになります。

建築文化賞の募集要領は当初より建築士の先駆的な質の向上を促す一面もありその意味でこの賞の果たしてきた役割は大きいと思います。

結びにこの賞が建築文化の発展に益々寄与することを確信し、今まで築いてくれた諸先生方のご労苦に感謝と敬意を表し挨拶に代えさせていただきます。

# 受賞作品の位置



## 建築文化賞受賞作品

### 所在市町村別の数

千葉市	25
習志野市	1
八千代市	2
市原市	3
市川市	4
船橋市	5
松戸市	4
野田市	3
柏市	3
流山市	2
鎌ヶ谷市	1
浦安市	3
佐倉市	1
八街道市	1
四街道市	2
印西市	6
白井市	1
栄町	1
成田市	1
富里市	1
香取市	5
山武市	2
東金市	3
大網白里市	1
大多喜町	3
いすみ市	2
鴨川市	3
南房総市	3
館山市	2
鋸南町	1
袖ヶ浦市	1
木更津市	4
君津市	1
富津市	1

計 102

## 第20回千葉県建築文化賞

- ① 山武市立しらはたこども園
- ② 千葉ロッテマリーンズ屋内練習場
- ③ 東京理科大学総合研究機構  
光触媒国際研究センター
- ④ THE FARM -AGRIZM PARK CHIBA KATORI-
- ⑤ 百日紅のある家
- ⑥ Example - House

## 第20回千葉県建築文化奨励賞

- ⑦ 流山の集会所(前ヶ崎みどり自治会館)
- ⑧ バスキッチンの家

★は1～19回の建築文化賞受賞作品



千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん

## お問い合わせ先

### 千葉県県土整備部都市整備局建築指導課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 TEL.043(223)3181 FAX.043(225)0913

### 一般社団法人 千葉県建築士会

〒260-0013 千葉市中央区中央4-8-5 TEL.043(202)2100 FAX.043(202)2101